

夢湧き夢に夢中

第9号

令和6年8月27日 文責：大谷

もっと高い夢に向かうために

「昨年は銀賞の受賞に大喜びだった子供たちが、今年と同じ銀賞にとっても悔しい思いをしたんです。子供たちの夢は確実に高まっているんです」

夏休みに入って間もなくの七月二六日に、県立劇場にて熊本県吹奏楽コンクールが開催されました。残念ながら、わたしは同日、別の研修会に終日出席しなければならなかったため、コンクールには同席できなかったのですが、先日、吹奏楽部の保護者の方々から冒頭のお話を伺い、当日の生徒らの姿が目には浮かんできて胸を熱くしました。随分と遅くなってしまいました。この場を借りて改めて心から敬意を表したいと思えます。吹奏楽部の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、悔しい思いをしたかもしれないが、本当におめでとうございました。また、県中体連をはじめ九州大会、全国大会に出場した皆さんにも改めて敬意を表します。夢をありがとうございました。

わたしは、南阿蘇中学校に赴任してから、ことあるごとに「夢を叶えることに夢中になってほしい」と話してきました。そして、体育大会や集団宿泊教室等の行事をはじめ、部活動や生徒会活動等を通じて、目の前の夢を叶え、仲間と喜び合いながら達成感に満ちた笑顔をとくさん目にしてきました。このことは、わたし自身の誇りであるとともに、南阿蘇中学校の誇りでもあると自負しています。そして、「明日叶えたい夢を叶える」ところで完結することなく、そこから次なる夢をめざしてさらに頑張ろうとする多くの人たちの姿にも出会ってきました。今思えば、わたしはそういう皆さんの姿からパワーをもらい、自分のエネルギー源にできました。さらなる夢の高まりを期待せずにはいられない。そんな朝を迎えたのです。

しかし一方で、生徒の皆さんの夢の実現のために、もっとわたしにできることはなかったかと反省させられることも多々あります。きつと、もっとみんなをサポートできることや、もっとみんなの思いに応えられたのではないかと考えているところがあります。

そこで、今日から始まる二学期では、次のことに新たに取り組み、みなさんとともに頑張りたいと思えます。

◆二学期は三年生にとって進路選択に向けた大切な時期であるとともに、一、二年生にとっても自分の進路について考えながら日々の学びに向き合わなければならない学期です。そこで、皆さんの学びを確かなものにしていくために、夏休み期間中に先生方が何度も研修を重ね、南阿蘇中独自の授業スタイル「みなあそ学習」を考案しました。二学期はすべての教科でこの「みなあそ学習」スタイルで授業を行います。そして、三年生の進路実現と一、二年生の学力充実のために全職員で取り組みます。

◆二学期は「対話」をキーワードに、「変えた方がよい」ことは積極的に変えていきたいと思えます。「対話」とは、あるテーマを設定したうえで、自己の考えを主張したり、ときには他者の意見を聴いて自己の考えを練り直したりしながら、自分もみんなも納得できる方策を見出していくようなプロセスを言います。そこで必要なのが「対話力」です。本校では授業の中に対話を用いた協働的な学びを必要に応じて取り入れながら、わからないことがわかったり、できなかったことができるようになったりするような授業をみんなで創っていきたくて考えています。そして、そのような学びの中で対話を身につけ、自分と友達、生徒と先生、先生同士そして保護者と学校との対話を、より一層充実させていきたいと思えます。

「もっと高い夢を叶えてもらうためにはどうすればいいか」常に考え、対話し、実践する二学期にしたいと思います。皆さんも、さらに高い夢へ夢中になれる二学期にしましょう。

■暦のうえでは秋とはいえ、まだまだ厳しい残暑が続いておりますが、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて、2学期のスタートにあたり、上記の内容を生徒にお話しさせていただきました。2学期も様々な行事が控えております。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。